



## 偉人の言葉

アイデアの秘訣は、執念である。

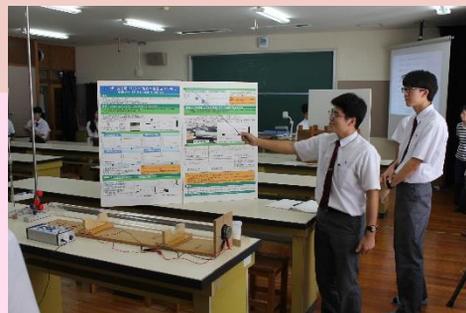
湯川 秀樹(ノーベル物理学賞受賞者)

# SS理数探究Ⅱの中間発表が行われました！！②

9月12日(水)に、SS理数探究Ⅱの研究発表会が行われました。今回は物理分野の発表をした生徒の気づき・感想などを紹介します。

### 高校生の気づき・感想など(物理分野選択の生徒)

■途中で、波長の長さや干渉の関係が全然わからなかったもので、勉強不足だと感じました。 ■ポスター発表は難しく、あまり上手にできなかったもので、今度はもっと練習をし、上手く発表できるようにしたい。また、自分の研究についてもっと理解し、質問などにも答えられるようにしたい。先生からの意見では、自分たちが気づけなかったようなことも分かったので、何でも決めつけるだけでなく、いろいろな可能性も考えるようにしたい。 ■実験の数が足りない。 ■考えていることを伝えるのは難しいと思った。いろいろな考え方があって参考になった。ちゃんと理解していない部分があった。 ■まだ、課題があるので、そこをなくしていきたいです。 ■データに信憑性をもたす。 ■中間発表をとおして、理学部の先生や、他の分野の人の話を聞くことで、今まで自分たちでは思いつけなかったような良い意見をたくさんもらうことができたのでよかったです。この意見を参考に、これからのSSHの研究にいかしていきたいです。 ■発表を分かりやすくすることは大事だなということ。 ■ノイズの原因をたくさん聞いて、いろいろアドバイスもらえてよかった。 ■まだデータが少なく、これからもたくさんのがわかっていくと思うので、それを今回みたいにくまなくポスターにまとめていきたい。 ■今までの結果からさらに問題点を発展させたり、もっと高い段数での実験の見込みが立てられた。 ■中間発表を終えて感じたことは、人の研究に対して、みんなで様々な質問や議論をすることは、とても面白いということです。また、自分の発表の時には、質問にしっかり答えられるか、とか、間違えたらどうしようとかきんちようしていただ、いざやってみると、相手がえがおで帰ってくれたので、とてもうれしかった。また今後の課題もたくさんみつけたので、次回から修正していきたい。 ■自分たちの研究がまだまだ途中だと思った。 ■これからは、今回いただいたアドバイスをもとに、研究内容を見直すことが必要だと思った。 ■他の分野のところに行って、発表を聞いたことで、考え方も少し教わったような気もするし、おもしろい内容ばかりで、視野が広がりました。自分の発表においても、やってきたことを伝えることができたし、以外と、みんなもわかってくれたので安心しました。これからはまた、もっと深い分野に入って、いい結果を出すよりも、いい研究になるように、楽しみながら、真剣に取り組んでいきたいです。 ■今後どうひろげていくか。 ■自分たちの班では基本的なことの発表になってしまっていたので、今後研究や実験を重ねてよりおもしろいものにしていきたいなと思った。他の分野の人たちもおもしろいところに視点を置いていて進めていたのでとても楽しくプレゼンを開くことができた。 ■実験データの情報量があきらかに足りないこととまだ基本的なことしか調べられていないことが、今後の課題だと感じた。他のグループの発表に比べて、図や写真が少なく、イメージがわきづらいということも1つの課題だと思う。今後グループのメンバーと話し合い、更に実験を進めていきたい。



↑ 物理分野会場の様子です！！(^ ^)